

平成 28 年 第 4 週(1月 25 日~1月 31 日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) http://www.pref.nara.jp/27874.htmTEL:0744-47-3183

インフルエンザ注意報発令中!

奈良県内全域でのインフルエンザの定点当たり報告数が、「10」を超え、注意報基準値を超えました。今後、さらに増加すると予想されます。 感染拡大の防止のために①手洗い・うがいの励行、②咳エチケット(マスク)を心がけてください。

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	3	奈良県	北部	中部	南部	
	沃 志石	定点当たり	(前週)	増減	AUOP	무매	Hot
1	インフルエンザ	13.80	(6.69)	^	^	^	^
2	感染性胃腸炎	7.12	(7.32)	+	→	7	→
3	A群溶連菌咽頭炎	2.03	(1.65)	7	→	1	7
4	伝染性紅斑	1.15	(1.09)	*	→	↑	^
5	RS ウイルス感染症	0.62	(0.74)	→	→	¥	•

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、7やや増加、→横ばい、3やや減少、→減少

❖県内概況❖

インフルエンザの定点当たり報告数が、13.80 と先週の倍以上に急増し注意報発令基準値である 10 を超えました。例年と比較すると遅い注意報発令です。近隣府県でも同様の傾向で、今後さらに 患者数は増加することが予想されるため、人ごみをなるべく避け、手洗いやうがいを心掛けるなど 予防対策を継続しましょう。また、ワクチンを接種していても発症することはありますので、症状がある場合には早めに医療機関を受診するよう心がけてください。

伝染性紅斑は依然として奈良市保健所管内で報告数の多い状況が続いています。特に 4 歳から 6 歳の子どもを中心に流行が広がっています。こちらも注意が必要です。

◆小児科外来情報◆

|北部地区(矢追医院)|

外来患者数はインフルエンザの増加で多くなっている。

1月最終週よりインフルエンザの流行が始まりました。迅速検査ではA型がB型よりやや多い傾向ですが混合流行しています。

RS ウイルス感染症と感染性胃腸炎は減少しています。流行性耳下腺炎が保育園児を中心に、伝染性紅斑が小学生を中心に流行が続いています。

|中部地区(岡本内科こどもクリニック)|

外来数はインフルエンザの増加と共に増加中。

インフルエンザはA型がやや多い状況でB型と混在。

学童に多く学級閉鎖も相次いでいる。症状は比較的軽症。

感染性胃腸炎はノロ様の嘔吐例が多い。ロタは未接種児に僅かに見られる。

流行性耳下腺炎が流行中。予防接種率が低いためか学童に多くみられる。

伝染性紅斑も流行中。

南部地区(県立五條病院小児科)

B 型インフルエンザの流行が拡大している。学級、学年閉鎖のクラスもでている。インフルエンザ感染を契機にした無気肺併発例もあり。また、イナビルやタミフルの効果の乏しい例も数例みられる。 胃腸炎やムンプスの流行は減少してきた。

❖定点把握感染症報告状況❖

	奈良県	北	部	中	部	南	部	
保健所別報告数		奈良市	郡山		中和(西)		ī	
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	745 (13.80)	155 (14.09)	138 (8.63)	124 (11.27)	252 (22.91)	32 (16.00)	44 (14.67)	
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	21	2	. 5	3	10		. 1	
	(0.62)	(0.29)	(0.50)	(0.43)	(1.43)		(0.50)	
咽頭結膜熱	(0.21)		(0.20)	(0.14)	(0.57)			
A群溶連菌咽頭炎	69	12	17	8	28		4	
A矸冷建困咽頭灭	(2.03)			(1.14)			(2.00)	
感染性胃腸炎	242	34	57	34	108	(1.00)	8	
	(7.12) 5	(4.86)	(5.70)	(4.86)	(15.43)	(1.00)	(4.00)	
水痘	(0.15)	(0.14)	(0.20)	(0.14)	(0.14)			
手足口病	2				2			
于足口/M	(0.06)				(0.29)			
伝染性紅斑	39 (1.15)	18 (2.57)	7 (0.70)	9 (1.29)	4 (0.57)	1 (1.00)		
突発性発しん	16 (0.47)	6 (0.86)	2 (0.20)	5 (0.71)	3 (0.43)			
百日咳								
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	20 (0.59)	7 (1.00)	6 (0.60)	3 (0.43)	1 (0.14)	(3.00)		
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎						-		
流行性角結膜炎	5 (0.56)			2 (1.00)	3 (1.50)	-		
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎							-	
無菌性髄膜炎							_	
マイコプラズマ肺炎	7 (1.17)	1 (1.00)	1 (0.50)		3 (3.00)	2 (2.00)	_	
クラミジア肺炎							-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)				1 (1.00)		-	

平成 28 年 第 4 週 1 月 25 日 ~ 31 日

◆全数把握感染症報告状況◆ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市2、郡山1、中和2)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	ウイルス性肝炎1件(郡山) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(奈良市)

❖第4週のトピックス❖

◆ジカウイルスと小頭症などの増加に関するWHO緊急委員会報告について(厚生労働省) http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000111219.html

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 :報告数 (下段):定点当たり報告数 報告数÷定点数

도 #시 미니 #미 #L #L

年齢別報告数																							
年齡区分	年齡	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女	2 1	2	6 10	9 7	15 11	16 25	32 27	24 25	31 33	30 22	30 29	75 64	30 23	10 9	18 18	26 26	13 11	10 7	4	2 7	385 360	644 631
年齡区分	年齡	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19								合計	累計
RSウイルス感染症	男女	2 2	4 1	4	1 2	1				1												12 9	88 92
咽頭結膜熱	男女			1 1	1 1	1			2													5 2	27 30
A群溶連菌咽頭炎	男女		1	1 1	3 1	2 5	1 5	7 7	4 6	3 4	2 5	1 4	3 2		1							28 41	115 110
感染性胃腸炎	男女	2 2	3 6	19 14	16 12	11 14	22 12	11 12	18 7	9 5	5 4	1 2	4 9	1 2	8 11							130 112	479 391
水痘	男女					2 1					1	1										4 1	31 12
手足口病	男女		1	1																		2	2
伝染性紅斑	男女		1	1	1 1	1	5 4	6 3	4 5		1 2	1 2	1									21 18	77 73
突発性発しん	男女		7 2	3 2	1 1																	11 5	37 30
百日咳	男女																						3
ヘルパンギーナ	男女																						1
流行性耳下腺炎	男女					1	1	3 3	1 2		4 2	1	1		1							11 9	49 38
年齡区分	年齡	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-		合計	累計
急性出血性結膜炎	男女																						
流行性角結膜炎	男女															1 1	1		1 1			3 2	6 4
年齡区分	年齡	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-					合計	累計
細菌性髄膜炎	男女																						1 1
無菌性髄膜炎	男女																						
マイコプラズマ肺炎	男女		1	2	1 2								1									2 5	15 20
クラミジア肺炎	男女																						
感染性胃腸炎	男		1																			1	5
(ロタウイルス)	女																						2

◆注目疾患の動向◆全て定点当たり報告数















